



Orchestra Sinfonica Foresta the 13rd Concert

# オーケストラ・シンフォニカ・フォレスタ 第13回演奏会



## モーツアルト 交響曲第38番 二長調「プラハ」

Wolfgang Amadeus Mozart : Symphony No. 38 in D major, K. 504

## マーラー 交響曲第4番 ト長調

Gustav Mahler : Symphony No. 4 in G major, GMW 37

指揮

石川 征太郎

ソプラノ独唱

松原 みなみ

コンサート・ミストレス

泉谷 シルク

2026年 2月 22日(日) 14:00開演／13:30開場  
小金井宮地楽器ホール 全席指定 2,000円

\*未就学児の客席へのご来場はご遠慮いただいております

大ホール



[チケット販売ページ]

<https://teket.jp/7197/56849>



[お問い合わせ]

\* Mail: [osforestakanri@gmail.com](mailto:osforestakanri@gmail.com)

\* Facebook: <https://www.facebook.com/osforesta/>

## 指揮者 石川 征太郎 Seitaro ISHIKAWA

東京藝術大学音楽学部指揮科、ロベルト・シューマン音楽大学デュッセルドルフ指揮科卒業および同大学院修了。

藝大卒業時にアカンサス音楽賞受賞。2011、2012年度ロームミュージックファンデーション奨学生。2015年国際リヒャルト・ワーグナー協会奨学生。2016年第1回フェリックス・メンデルスゾーン国際指揮者コンクール第2位受賞。

レパートリーはバロックから現代音楽まで幅広く、国内外で新作初演も積極的に行なっている。2006年から2016年まで武生国際音楽祭（音楽監督：細川俊夫）に指揮者、ピアニストとして毎年出演。

2016年サントリー芸術財団サマーフェスティバル国際作曲家委嘱シリーズ＜カイヤ・サーリアホ＞に出演。2018年にはハンブルク州立歌劇場にてペーター・ルジツカのオペラ「ベンヤミン」の副指揮を務め、世界初演の成功に貢献する。

これまでに読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、ケルン放送管弦楽団、ノイエ・フィルハーモニー・ヴェストファーレン、ベルギッシュ・シンフォニカ等を指揮している他、故ゲルハルト・ボッセのアシスタント指揮者としての任も担い2013年以降はその後任として神戸市室内管弦楽団の3月定期演奏会などの指揮者を務めている。

指揮を田中良和、ハンス＝マルティン・シュナイト、ゲルハルト・ボッセ、リューディガー・ボーンに、ピアノを林達也、ユーラ・マルグリス、コレペティトゥアをゲルハルト・ミヒャルスキ各氏に師事。



## ソプラノ独唱 松原 みなみ Minami MATSUBARA



東京藝術大学音楽学部声楽科、同大学大学院音楽研究科修士課程（独唱）、博士後期課程（独唱）修了。博士号（音楽）を取得。ウィーン国立音楽大学オペラ科を審査員満場一致の首席（最優秀）で修了。東京藝術大学音楽学部声楽科教育研究助手。

第24回友愛ドイツ歌曲コンクール一般の部第2位ならびに、日本歌曲賞受賞。Jan Kiepura国際声楽コンクール R.シュトラウス賞受賞。Ljuba Welitsch国際声楽コンクール特別賞受賞。第26回コンセール・マロニエ 21第3位。第91回日本音楽コンクール声楽部門（歌曲）第1位、ならびに木下賞、畠中賞、E.ナカミチ賞受賞。

オペラでは、《コシファン・トゥッテ》デスピーナ役でデビュー後、ドンナアンナ、ツェルリーナ《ドン・ジョヴァンニ》、グレーテル《ヘンゼルとグレーテル》、アデーレ《こうもり》など主要キャストとして出演。なかでも、シェーンブルン宮殿宮廷劇場にて演じたパミーナ《魔笛》は好評を博した。2023年度フェニーチェ堺開館5周年記念 子どものためのオペラ「まほうのふえ～パミーナ姫のたんじょうび～」ではタイトルロールを務める。サラダ音楽祭2024 子どものためのオペラ《アトランティス・コード》にモエコ&グラツィエッラ役として登場したのは記憶に新しい。

歌曲とオラトリオに幅広いレパートリーを持ち、コンサートソリストとして国内外の公演に携わる機会が多い。バッハ「口短調ミサ」「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、ハイドン「四季」「天地創造」、モーツアルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」「ミサソレムニスニ長調」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、シューマン「楽園とペリ」（ペリ役）、メンデルスゾーン「讃歌」「聖パウロ」、オルフ「カルミナ・ブランナ」、R.シュトラウス「クレメンス・ブレンターノの詩による6つの歌」、G.マーラー交響曲第二番「復活」、交響曲第四番「天上の生活」などに出演。

## コンサートミストレス 泉谷 シルク Shiraku IZUMITANI

大阪府出身。6歳からヴァイオリンを始め、9歳で滋賀県のさきらジュニアオーケストラに入団。指揮者秋山和慶の下、11歳から8年間コンサートマスターを務める。14歳で阪哲朗指揮のジュニアオケのフランス公演に参加し、仏首相御夫妻御臨席の下、コンマスとソリストを務める。

第20回大阪国際音楽コンクールAge-Hエスポアール賞、第74・75回全日本学生音楽コンクール高校生部門大阪大会入選、第15回ペーテン音楽コンクール全国大会第2位、第27・28回KOBE国際音楽コンクール奨励賞。第19回セシリア国際音楽コンクール2025大学生の部第4位。第9回K弦楽器コンクール最高位。高槻ロータリークラブ青少年育成基金事業より表彰を受ける。The MOST in JAPAN 2021 東京公演にてソリストを務める。

びわ湖ミュージックハーベスト、秋吉台室内楽セミナー、アンサンブル天下統一アンサンブルアカデミー等で室内楽を学ぶ。今井信子傘寿記念演奏会にオーケストラの一員として参加。

2024年夏、オーディションを経てドイツで2ヶ月間開催されたSchleswig-Holstein Musik Festivalのフェスティバルオーケストラに参加し、アシスタントコンマスを務める。2025年夏、ドイツで行われたWuppertaler Musiksommer 2025にてProf. Michael Foyle氏のマスタークラス受講。

現在、玉井菜採、漆原朝子、福田廉之介各氏に師事。東京藝術大学音楽学部器楽科4年在学中。



## オーケストラ・シンフォニカ・フォレスター

オーケストラ・シンフォニカ・フォレスターは、2010年に活動を始めた社会人オーケストラです。特定の母体は持っておらず、普段は様々な団体で活動している奏者が集まり、指揮者・石川征太郎氏のもと、コンサートミストレスの泉谷シルク氏を始め、弦楽器のトップに石川氏の同世代のプロ奏者を迎えて、短期間で質の高い演奏を目指して充実した活動をしています。演奏曲目はドイツロマン派を始め、ドヴォルザークやドビュッシーなど、19世紀～20世紀の多方面の音楽へ広がっています。